

事業名

「町内会があって良かったと思えるまちー成逸」のPR誌の発行

実施団体

成逸住民福祉協議会

成逸学区の長期にわたる多様なまちづくり活動の取組成果を踏まえ、これまでに蓄積した取組の更なる進化とともに、町内会加入促進のためのPR誌「成逸住民福祉協議会の紹介と加入のご案内」の改訂を行い、関係全世帯に配布しました。

成逸学区紹介パンフレットの改訂

平成23年に町内会未加入者を対象に学区紹介のPR誌を作成、配布しました。以降、成逸学区で多くの取組が更新されたので今回PR誌を改訂しました。PR誌は町内会加入者全世帯と未加入のマンション世帯にも配布、今後は成逸学区紹介に活用します。

せいいつほっと安心カードの改訂

平成26年に災害時要配慮者支援台帳「ほっと安心カード・マップ」を作成、今年3回目の改訂作業を行いました。**73歳以上高齢者420人**に安心カードを配布、**359人の回答**、**268人の方が支援希望の回答を確認**し、安心台帳、安心マップを更新しました。

■成逸学区の概要
 明治2年堀川寺之内上下天神町に成逸小学校(上京第2番組小学校)が開校し、その通学区が成逸学区となりました。しかし児童の減少のため、近隣4学区で統合(西陣中央小学校)し、平成9年に閉校、その跡地には平成16年に「京都市立北総合支援学校」(現在は北総合支援学校)が開校しました。現在は北総合支援学校は成逸学区の活動、交流、防災拠点として、地域と共に歩んでいます。

■成逸住民福祉協議会の組織
 成逸学区では、学区(小学校区)を対象として活動する学区社会福祉協議会(ボランティアの住民自治福祉活動団体)を住民福祉協議会(成逸住協)と呼んでいます。
 成逸住協は住協本部、学区内の町内会(26ヶ町)、各種団体(約20団体)で構成されたボランティアの住民自治福祉活動団体です。この中から本部役員を含む評議員55名が選出され協議会の運営にあたり、住民、各団体相互の連携のもとに、地域に密着したきめ細やかな福祉を目指して活動しています。
 成逸住協の事業は、地域住民の支えあいの各町分担金(1世帯あたり年額2,760円)と、市・区社協の交付金を以てその大部分の財源としています。

《成逸学区のめざまし》

- 私のまちに町内会があってよかった
- みんながごちよいと思えるまちを目指して、

成逸住民福祉協議会を中心に、各町内会と連携して取り組んでいます

◆「町内会を基本とした防災まちづくりー願の見える安心感のある成逸のまちー」で「第21回防災まちづくり大賞消防庁長官賞」を受賞しました。(H29.3)

（発行）成逸住民福祉協議会
 上京区堀川通寺之内上二丁目下天神町 650-1
 成逸会館内
 E-mail: info@seitujukyo.org
 URL: <http://seitujukyo.org>
 (平成31年3月改訂)

成逸住民福祉協議会の紹介と加入のご案内

成逸学区にお住まいの方へ

新たに成逸学区にお住まいの方、以前からお住まいでも町内会や成逸住民福祉協議会に参加されていない方にご案内します。
 日頃から地域の方と交流を深め、みんなが支え合うごちよいまちづくりのために、町内会や成逸住民福祉協議会に加入しましょう。

成逸ほっと安心カード『町』
 災害時には地域みんなで支え合おう

平成31年1月現在

●支援要望 ●支援要望(支援者不在時) ○73歳以上高齢者

●災害時及び緊急時に、地域のみなさんの支援を望まれる方の地図です。災害時には地域のみなさんで声かけあって、助け合ひましょう。
 ●まずは日頃からの見守り、声かけに配慮しましょう！
 ○この情報の取扱いには十分にご配慮下さい。

(参考) 成逸ほっと安心カード(ほっとカード)の記入参考例

成逸ほっと安心カード(ほっとカード) 新規・更新

ふりがな	せいいつほつこ	性別	年齢	同居者
①氏名	成逸 花子	男・女	92歳	いない

【最初に】災害時や緊急時に避難する際に支援が必要ですか。該当する項目に○をつけてください。
 ア. 支援は不要 イ. 支援が必要 ウ. 同居者がいるが不在時には支援が必要

【最初に】で「支援が必要、ウ. 同居者がいるが不在時に支援が必要」とご回答いただいた方(災害時や緊急時に避難する際に地域の支援を望まれる方)は、下記にご記入ください。提出してください。
 なお、このカードの情報は緊急時に備えて関係機関等へ提供することに同意していただきます。

⑤ 生年月日	明治・大正 ()年()月()日
⑥ 住所	〒 002-0074 京都市上京区堀川寺之内上天神町
⑦ 電話	075-000-1111
⑧ FAX	075-000-1112
⑨ 町内会名	天神町 第 組

⑩ 世帯状況
 ア. 一人暮らし イ. 高齢者のみ世帯 ウ. 探訪者
 身体状況
 エ. 歩行困難 オ. 同居者がいるが不在時に支援を希望
 カ. 障害がある (具体的に)
 キ. その他 (具体的に)

⑪ 必要とする支援該当する項目すべてに○を記入下さい。
 ア. 避難する際の声かけ イ. 避難所までの誘導・付添い
 ウ. 歩行困難で、移動手段の確保 エ. 親族等への連絡
 オ. その他 (具体的に)

⑫ 同居家族	続柄	氏名	生年月日	携帯番号
夫	成逸 太郎	大正〇〇年〇月〇日	090-000-11110	

⑬ 配慮してほしいこと(必要な保健・医療・福祉サービス等を記入してください)

●緊急時に連絡を取る方について以下の項目にご記入ください。

⑭ 緊急時連絡先について右の番号に○を記入してください	<input type="radio"/> ア. 緊急時の連絡先は登録しない	<input type="radio"/> イ. 緊急時の連絡先は町籍簿に記載の連絡先とする
	<input type="radio"/> ウ. 緊急時の連絡先として下記の連絡先を登録する	

⑮ 緊急連絡先	続柄	氏名	住所	〒	電話番号
	成逸 一郎	成逸 一郎	京都市中京区寺町御池上本願寺町	075-222-0000	(自宅・勤務先)
	成逸 花子	成逸 花子		075-222-0000	(自宅・勤務先)

記入日 平成 30年 9月 25日

成逸学区 平成30年度の主な活動報告

第14回 マンション居住のみなさまへのご案内 せいいつ住まい交流会

「せいいつ住まい交流会」はマンションにお住まいの方と地域の方の交流のきっかけづくりを目指して、平成20年6月に第1回を開催しました。今年で11年目を迎えます交流会の節目としまして、これまでもお世話になっておりますお二人の方にご協力頂き、第14回交流会を開催します。
成逸学区にお住まいのすべての方を対象に、下記の通り開催しますので、大勢の方の参加をお待ちしています。

- 日時 12月9日(日) 午後3時～4時半
- 会場 北総合支援学校体育館
- プログラム
 - 2時45分 受付開始
 - 3時00分 挨拶・交流会の企画説明
 - 3時10分 交流タイム
 - プログラム1 落語鑑賞
演者 関大亭一八氏
 - プログラム2 クラシックギター演奏
演奏者 清瀬仁啓氏
 - 4時30分 終了



清瀬 仁啓 (みぞぶらまさし) 長崎県立総合大学文学部心身障害者教育、ギター音楽専攻、文芸部に所属。1996年東京、エスティー・ミュージック・アカデミーに入学。第11回ギター演奏大会において優勝。リサイクルやアンテナFMなど、地元を中心に活動。

*参加は無料です！どなたでも参加できます。
*参加希望者はチラシの裏面にあります「アンケート」にお答え頂き、当日受付にお渡しください。これが参加証になります。
主催：成逸住民福祉協議会、成逸まちづくり推進委員会
企画支援：京・まち・ねっと

第14回せいいつ住まい交流会 (12月9日)

町内会未加入者との交流を目的とした「せいいつ住まい交流会」は平成20年開催から継続、今年で11年目を迎えた節目として第14回交流会を開催しました。あいにく寒さが厳しい時で参加者は100人弱でしたが、落語鑑賞、ギター演奏で楽しみました。終了後、成逸会館で軽食を一緒にしながら歓談しました。

2018年度成逸総合防災訓練 (10月21日)

総合防災訓練は各町内会ごとに北総合グラウンドに集合し、避難所開設の訓練を行いました。避難所では「水害、台風、地震などの災害への対応」について学習しました。
今年も参加者対象にアンケート調査を行い、参加者219人、アンケート回答141人で集計分析を行いました。



回覧 みんなの居場所・まちの縁側



- お一人でも、お友達どうしでも
 - 開催時間のお好きな時間に
 - お茶を飲んでゆったりとお気軽にご参加ください。
- 【日時】毎月 第2・3・4火曜日 13時～15時半まで
【場所】大宮頭交番所北(寺田様宅)
【主催】成逸住民福祉協議会

ほとせいいつ30年度の連続企画のご案内です。どなたでも参加できますので、どうぞお誘いの上にご参加ください。

ほとせいいつ 「6月企画」 スカーフネックレス づくり

いらなくなったスカーフで素敵なネックレスをつくってみませんか！
材料は準備しますので、「ハサミ」と、不要なスカーフ(90cm角)があればお持ち下さい。みんなで楽しくスカーフネックレスを作りましょう！
(講師) 中居 静子 さん (成逸住協庶務担当)
(日時) 6月12日(火) 13時45分～15時頃まで



「みんなの居場所ーほとせいいつ」は毎月火曜日に3回開催を平成25年から継続しています。住協役員および女性会役員の支援で開催、毎回高齢者の方が交流されています。
今年も企画等を実施して参加者増に努めましたが、参加者の固定化、拡大は課題が残っています。

ほとせいいつの開催 (毎月火曜日開催)

成逸自主防災会が第21回防災まちづくり大賞消防庁長官賞を受賞したことを契機に、全国から成逸学区に視察研修に来られます。
今年11月に愛知県新城市と刈谷市、3月には滋賀県の東近江市からの研修を受け入れ、成逸学区の取組を紹介し、全国に発信しました。

他都市からの防災視察研修の受け入れ

新城市洪水ハザードマップ



- 今回の研修で確認して頂きたいこと
- 成逸学区の防災まちづくりの特性の確認
- 1 成逸住民福祉協議会の長い活動の成果として、フラットな自治会活動と町内会を基本としたまちづくり活動が浸透している。
 - 2 自治会の自主的な活動とまちづくり専門家の支援の成果として、行政の支援なしで、防災まちづくり活動が継続している。
- ※成逸学区の事例は好条件がそろった先進事例ですから、真似せず
- 刈谷市の自治会を中心とした防災まちづくりの展開
- 1 刈谷市の自治会活動の現状と特性に合った防災活動の展開
 - 2 まずは自助の確認、そして共助で出来ることからの取組
 - 3 地域に根差す様々な組織や人材と持続的な協働の活動を
 - 4 活動は継続が原則、そして大災害の教訓に学び進化すること
 - 5 防災活動情報は丁寧に、すべての世帯に行き渡るように！